

『計算論的思考を育む Python プログラミング入門』 正誤表

著者名 綾 皓二郎

Ver1.0

No	頁	行・場所	誤	正
1	p.43	下から7行目	2の平方根	3の平方根
2	p.97	集合の演算子	対象差	対称差
3	p.113		sanke_to_u Camel.ipynb	snake_to_u Camel.ipynb
4	p.140		タプル(キー:値)	タプル(キー, 値)
5	p.141		タプル(キー:値)	タプル(キー, 値)
6	p.152	例題6.9の説明 コード		現在のL5, L6のコードは、現在のL8の次に移す。
7	p.152	プログラムの下から6行目	このプログラムは高速です。試しに $n = 10000$ でやってみてください。	このアルゴリズムは、エラトステネスの篩よりも実行速度は劣りますが、かなり速いといえます。試しに $n = 100000$ でやってみてください。
8	p.174	プログラム trigo.ipynb 第4行	$x = x / 1000$	$x = x / 1000$
9	p.180	プログラム dice_throw.ipynb 第20行	<code>print('先験的確率 ', round(1/6, 4))</code>	<code>print('先験的確率は 1/6 ≐', round(1/6, 4))</code>
10	p.180	実行結果	統計的確率 0.1667	先験的確率は $1/6 \doteq 0.1667$
11	p.224	④の2行目	1 - 1000[edit]	1 - 10000[edit]
12	p.225	図8.2の説明	第1位から第10000位	第1位から第1000位 ※注：分析は、第1位から第1000位までのデータを使っています
13	p.232	プログラム type_err.ipynb 第3行	$x = 5 / 0$	$x = 5 / 0$
14	p.284	上から5行目	オブジェクト・インスタンスメソッド(実引数の並び)	オブジェクト名・インスタンスメソッド名(実引数の並び)
15	p.334	参考文献[6]	Anacondahttps	Anaconda https
16	p.334	参考文献[10]	三谷 純	三谷 純：

17	p334	参考文献[11]	頻出概念 Communication of the ACM	頻出概念, <i>Communication of the ACM</i>
18	p334	参考文献[17]	Communication of the ACM	<i>Communication of the ACM</i>
19	p334	参考文献[20]	Computational thinking	<i>Computational Thinking</i>
20	p334	参考文献[28]	(訳)『マインドストーム』	(訳) : 『マインドストーム』